

推薦を受けた者および募集に応募した者に関する情報						推薦団体の情報						
氏名	職業	年齢	性別	経歴	漁業経営の状況	漁業法第138条第5項の漁業者または漁業従事者であるかの別	推薦または応募の理由	名称	目的	代表者の氏名	構成員の数	構成員たる資格その他の当該推薦をする者の性格を明らかにする事項
松井 弥惣治	漁業	66	男	平成15年5月～平成18年6月 平成18年6月～平成30年6月 平成30年6月～令和3年6月 令和3年4月～現在	志賀町漁業協同組合監事 志賀町漁業協同組合理事 志賀町漁業協同組合代表理事組合長 第22期琵琶湖湖区漁業調整委員会委員	漁業者	漁業調整が重要なエリ漁業を長年営み、十分な経験と知見を積んでいる。またエリの数が最も多い志賀町漁業協同組合の理事、代表理事組合長を務めた経歴がある。地元からの信頼度が高く、調整力があり、引き続き海区漁業調整委員の職務を適正に担えると思われる。 また、大津市西部地域の漁業協同組合からの推薦があり、本会理事会において推薦することが合意されている。	滋賀県漁業協同組合連合会	会員が協働して経済活動を行い、所属員の漁業の生産能率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。	佐野高典	20会員	構成員たる資格：県内の漁業協同組合、漁業協同組合連合会または漁業生産組合 その他当該推薦をする者の性格を明らかにする事項：水産資源の管理及び水産動植物の増殖、水産に関する経営および技術の向上に関する指導、所属員の漁獲物等の運搬、加工、保管又は販売、漁場の利用に関する事業を行っている。
小島 俊明	漁業	74	男	平成18年3月5日～平成21年2月28日 平成21年3月1日～平成27年3月14日 平成27年3月15日～令和6年9月30日 令和6年10月1日～現在 令和元年6月27日～令和4年6月28日	湖南漁業協同組合監事 湖南漁業協同組合副組合長理事 湖南漁業協同組合代表理事組合長 合併により滋賀びわ湖漁業協同組合湖南支所長 および同組合代表監事 滋賀県漁業協同組合連合会理事	漁業者	瀬田川およびその周辺の琵琶湖において長年シジミ漁に従事し、経験と知識が豊富である。平成27年より湖南漁業協同組合の組合長に就任し、本年10月1日に滋賀びわ湖漁業協同組合と合併後の湖南支所長に至るまで、地域漁業組織の長を務めるとともに、令和元年から4年まで、本会の理事を務めた。 また、本年10月1日に合併した滋賀びわ湖漁業協同組合の代表監事を務めている。 調整力、意欲、適正があり、南湖南部地域の漁業協同組合からの推薦があるとともに、本会理事会で推薦することが承認されている。	滋賀県漁業協同組合連合会	会員が協働して経済活動を行い、所属員の漁業の生産能率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。	佐野高典	20会員	構成員たる資格：県内の漁業協同組合、漁業協同組合連合会または漁業生産組合 その他当該推薦をする者の性格を明らかにする事項：水産資源の管理及び水産動植物の増殖、水産に関する経営および技術の向上に関する指導、所属員の漁獲物等の運搬、加工、保管又は販売、漁場の利用に関する事業を行っている。
浦谷 一孝	漁業	41	男	平成25年3月～令和3年2月 令和3年3月～現在 令和3年4月～現在	守山漁業協同組合監事 守山漁業協同組合理事 第22期琵琶湖湖区漁業調整委員会委員	漁業者	父親の漁業後継者として平成17年に守山漁業協同組合の正組合員となり、主にエリ漁業を営む。琵琶湖の漁業者の中では若手であるが、正組合員となる以前から漁業に従事しており、十分な経験と知識を積んでいる。 漁業への意欲があり、今後の琵琶湖漁業を担う者として、資源管理や漁業調整など引き続き海区漁業調整委員としての職務を適切に担えると思われる。 また、地元域の漁業協同組合からの推薦があり、本会理事会において推薦することが承認されている。	滋賀県漁業協同組合連合会	会員が協働して経済活動を行い、所属員の漁業の生産能率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。	佐野高典	20会員	構成員たる資格：県内の漁業協同組合、漁業協同組合連合会または漁業生産組合 その他当該推薦をする者の性格を明らかにする事項：水産資源の管理及び水産動植物の増殖、水産に関する経営および技術の向上に関する指導、所属員の漁獲物等の運搬、加工、保管又は販売、漁場の利用に関する事業を行っている。
奥村 繁	漁業	77	男	平成19年4月～平成24年3月 平成24年4月～現在 令和元年6月27日～現在	沖島漁業協同組合副組合長理事 沖島漁業協同組合代表理事組合長 滋賀県漁業協同組合連合会副会長理事	漁業者	沖島漁業協同組合加入前から家業の漁業に従事して長年様々な漁船漁業を営み、近年では底曳き網やエビタツベ漁業を営むなど沖合から沿岸まで漁業の知識や経験が極めて豊富である。 平成19年から同組合の理事、副組合長を務め、平成28年から現在まで組合長として、琵琶湖最大の漁業協同組合を牽引している。 令和元年から本会の副組合長理事を務め、令和4年11月には全漁連の漁協系統功労者表彰を受賞している。 調整力、指導力があり、今回、沖島漁協からの推薦があり、本会理事会で推薦することが承認されている。	滋賀県漁業協同組合連合会	会員が協働して経済活動を行い、所属員の漁業の生産能率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。	佐野高典	20会員	構成員たる資格：県内の漁業協同組合、漁業協同組合連合会または漁業生産組合 その他当該推薦をする者の性格を明らかにする事項：水産資源の管理及び水産動植物の増殖、水産に関する経営および技術の向上に関する指導、所属員の漁獲物等の運搬、加工、保管又は販売、漁場の利用に関する事業を行っている。
森 善則	漁業	82	男	平成16年7月～平成24年6月 平成24年7月～現在 平成27年7月～令和2年6月 平成25年6月～平成28年2月 令和元年6月27日～現在	磯田漁業協同組合監事 同組合理事 同組合代表理事組合長 滋賀県漁業協同組合連合会監事 同連合会理事	漁業者	昭和56年より彦根市磯田漁業協同組合員として、刺網、延縄、竹筒漁業を営むとともに、過去にはシジミ漁、エリ漁業にも従事し、様々な漁業の経験と知識が豊富である。 平成27年～令和2年まで同組合の組合長を務め、地域漁業者の指導的役割を担うとともに近年ではふなずし漬け方講習会を開催してニゴロブナの消費拡大にも積極的に取組んでいる。 平成25年から平成28年まで本会の監事、令和元年から本会の理事を務めており、調整力、意欲、適正があることから地元域の漁業協同組合からの推薦があり、また本会理事会で推薦することが承認されている。	滋賀県漁業協同組合連合会	会員が協働して経済活動を行い、所属員の漁業の生産能率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。	佐野高典	20会員	構成員たる資格：県内の漁業協同組合、漁業協同組合連合会または漁業生産組合 その他当該推薦をする者の性格を明らかにする事項：水産資源の管理及び水産動植物の増殖、水産に関する経営および技術の向上に関する指導、所属員の漁獲物等の運搬、加工、保管又は販売、漁場の利用に関する事業を行っている。
河島 順二	漁業	55	男	平成4年8月1日～現在 令和4年6月29日～現在	新虎姫漁業生産組合理事 滋賀県漁業協同組合連合会理事	漁業者	長年にわたり田川でヤナ漁業を営むとともに、琵琶湖での刺網、貝曳き網漁業に従事し、経験と知識が豊富である。 30年以上新虎姫漁業生産組合の理事を務めるとともに、令和4年6月より本会理事を務めている。 調整力、意欲、適正があり、長浜地域の漁業協同組合、生産組合からの推薦があり、また、本会理事会で推薦することが承認されている。	滋賀県漁業協同組合連合会	会員が協働して経済活動を行い、所属員の漁業の生産能率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。	佐野高典	20会員	構成員たる資格：県内の漁業協同組合、漁業協同組合連合会または漁業生産組合 その他当該推薦をする者の性格を明らかにする事項：水産資源の管理及び水産動植物の増殖、水産に関する経営および技術の向上に関する指導、所属員の漁獲物等の運搬、加工、保管又は販売、漁場の利用に関する事業を行っている。
佐野 高典	漁業	76	男	昭和62年4月～平成11年4月 平成11年4月～平成31年4月 平成19年8月～令和6年9月30日 令和6年10月1日～現在 令和元年6月～現在 令和3年4月～	大津市議会議員 滋賀県議会議員 堅田漁業協同組合 代表理事組合長 滋賀びわ湖漁業協同組合代表理事組合長 滋賀県漁業協同組合連合会 代表理事会会長 第22期琵琶湖湖区漁業調整委員会委員	漁業者	昭和43年より堅田漁業協同組合員として刺網漁業、沖曳き網漁業等を営み、琵琶湖漁業の経験と知識が豊富である。 大津市議会議員ならびに滋賀県議会議員を務め、地域からの信頼が厚い。 平成19年から堅田漁業協同組合の代表理事組合長を務め、本年10月1日からは合併した滋賀びわ湖漁業協同組合の初代表理事組合長を務めている。 また、令和元年から本会の代表理事会会長を務め、高い指導力、調整力を有している。 第22期琵琶湖湖区漁業調整委員会であり、今回、地元域の漁業協同組合から推薦され、本会理事会においても推薦することが合意されている。	滋賀県漁業協同組合連合会	会員が協働して経済活動を行い、所属員の漁業の生産能率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。	佐野高典	20会員	構成員たる資格：県内の漁業協同組合、漁業協同組合連合会または漁業生産組合 その他当該推薦をする者の性格を明らかにする事項：水産資源の管理及び水産動植物の増殖、水産に関する経営および技術の向上に関する指導、所属員の漁獲物等の運搬、加工、保管又は販売、漁場の利用に関する事業を行っている。
光永 靖	大学教員	52	男	平成11年度～平成16年度 平成17年度～平成25年度 平成26年度～現在 平成28年8月～現在	近畿大学農学部助手 近畿大学農学部講師 近畿大学農学部准教授 琵琶湖湖区漁業調整委員会委員 ○学位 博士(農学)京都大学農学研究科 ○所属学会 海洋理工学会、日本水産工学会、日本水産学会 日本バイオロギング研究会、日本水産増殖学会 ○書籍、講演、論文等 ・持続的漁業に向けた琵琶湖魚類の行動分析 ・資源管理による持続的漁業の確立「メコンオオナマズを獲りながら護るには」 ・ピワマスはいつ・どこで・なににしている ・オオクチバスの季節的な行動分析 ○受賞 日本水産学会 論文賞 水産工学会 水産工学奨励賞	-	光永氏は、魚に発信機を装着して行動や移動経路を追跡することにより、魚の生態的特性を解析する研究に従事するなど、ライフサイエンスや水圏生産科学の専門家である。また、それ拉致権を踏まえた資源管理にも精通している。さらに、琵琶湖をフィールドとした研究にも積極的に取り組んでおり、これまでに持続的漁業に向けた琵琶湖の魚類の行動分析のほか、ピワマスの行動追跡、在来魚に深刻な影響を及ぼすオオクチバスの季節的な行動分析の研究にも従事している。同氏はこれまで水産学に関わる経歴を有しており漁業経営についても明るい。 平成28年からは琵琶湖湖区漁業調整委員会委員を務め、自身の研究成果を活かして委員会において水産学の専門家としての的確な発言をされている。 このように、同氏は漁業に関する識見を有し、漁業調整委員会の所掌に属する事項に関してその職務を適切に行うことができ、資源管理や漁業経営に関する学識経験を有する者としてふさわしい。	公益財団法人滋賀県水産振興協会	水産資源の維持培養、漁業経営の近代化など水産業にかかわる社会的、経済的基盤の整備開発に係る事業を推進し、もって本県漁業の発展と安定に寄与することを目的とする。	理事長 江島宏治	理事9名 監事3名 評議員9名 職員6名	■業務概要 琵琶湖の代表的な魚介類であるニゴロブナやアユ等の種苗生産、放流を行い、有用水産資源の増殖に努めるとともに、増殖場施設の管理点検により自然生産力の回復に努めるなど、琵琶湖水産業の振興を図っている。

氏名	職業	年齢	性別	経歴	漁業経営の状況	漁業法第138条第5項の漁業者または漁業従事者であるかの別	推薦または応募の理由	名称	目的	代表者の氏名	構成員の数	構成員たる資格その他の当該推薦をする者の性格を明らかにする事項
宮崎 多恵子	大学教授	60	女	平成5年7月～平成6年3月 平成7年10月～平成9年3月 平成9年4月～平成11年3月 平成12年4月～平成13年12月 平成14年1月～平成15年6月 平成15年7月～平成15年9月 平成15年10月～現在 平成28年12月～令和6年11月 令和4年～現在 平成27年～現在 平成30年～現在 平成23年～令和2年、令和4年～現在 平成27年～令和4年 令和2年～現在	東京水産大学助手(第35次南極地域観測隊員として) 東京大学海洋研究所COE研究員 放射線医学総合研究所研究員 同主任研究員 三重大学生物資源学部助手 同講師 同助教授(法人化後 准教授) 滋賀県内水面漁場管理委員会委員 滋賀県農林水産技術会議/外部評価委員 愛知県環境影響評価審査会委員 愛知県環境審議会 水質・地盤環境部会委員 三重県環境影響評価審査会委員 三重県港湾審議会委員 伊賀市土地利用審議会委員 ○学位 博士(水産学)東京水産大学 ○所属学会 日本水産学会 ○書籍、講演、論文等(主要なもの) ・宮崎多恵子(2018)3章 形態:／視覚、魚類学の百科事典、丸善出版、東京(共著) ・宮崎多恵子(2015)水族館発! みんなが知りたい釣り魚の生態、成山堂書店、東京(共著) ・探る・運ぶ・飼う・研究する-大学と水族館による共同研究のリアル-巨大アオリイカ・レッドモンスターの飼育」2023/3月名古屋水族館 ○受賞 日本航海学会奨学褒章		宮崎氏は、魚類神経生物学、魚類組織生理学、魚類行動生理学、海洋環境生物学をはじめとする水産学を専門分野とする大学教員であり、生理学・生物学の豊富な専門知識を背景に漁業や水産資源にも精通している。 平成28年からは滋賀県内水面漁場管理委員会委員を務め、自身の研究成果や経験を活かして委員会において学識経験委員として貢献されており、この内水面委員会委員としての活動を通じて本県の魚介類や漁業に対する理解をさらに深めておられる。 このように同氏は、漁業に関する識見を有し、漁業調整委員会の所掌に属する事項に関してその職務を適切に行うことができ、資源管理や漁業経営に関する学識経験を有する者としてふさわしい。	公益財団法人滋賀県水産振興協会	水産資源の維持培養、漁業経営の近代化など水産業にかかわる社会的、経済的基盤の整備開発に係る事業を推進し、もって本県漁業の発展と安定に寄与することを目的とする。	理事長 江島宏治	理事9名 監事3名 評議員9名 職員6名	■業務概要 琵琶湖の代表的な魚介類であるニゴロブナやアユ等の種苗生産、放流を行い、有用水産資源の増殖に努めるとともに、増殖場施設の管理点検により自然生産力の回復に努めるなど、琵琶湖水産業の振興を図っている。
谷口 孝男	団体参与	71	男	平成16年度～平成17年度 平成18年度 平成19年度～平成21年度 平成22年度～平成23年度 平成24年度～平成25年度 平成26年度～令和元年度 令和2年度～現在 平成27年9月～現在	滋賀県農政水産部水産課長 滋賀県農政水産部農政課長 滋賀県農政水産部次長 滋賀県理事(食肉流通担当) 滋賀県会計管理者 滋賀県商工会議所連合会専務理事 大津商工会議所参与 琵琶湖海区漁業調整委員会会長		谷口氏は長年にわたり県行政の中核で活躍されてきた。水産課長も経験されており、琵琶湖漁業の状況や課題、本委員会において審議する内容に精通している。また、会計管理者を務めるなど、県としての公益に関わる職務にも経験が豊富である。 平成27年から琵琶湖海区漁業調整委員会の公益選出委員として歴任し、会長職として円滑な委員会運営を図られてきた。利害が対立する委員会においては、中立的な立場での利害調整役として最適な人物である。 このように、同氏は漁業に関する見識を有し、漁業調整委員会の所掌に属する事項に関してその職務を適切に行うことができ、利害を有しない者としてふさわしい。	公益財団法人滋賀県水産振興協会	水産資源の維持培養、漁業経営の近代化など水産業にかかわる社会的、経済的基盤の整備開発に係る事業を推進し、もって本県漁業の発展と安定に寄与することを目的とする。	理事長 江島宏治	理事9名 監事3名 評議員9名 職員6名	■業務概要 琵琶湖の代表的な魚介類であるニゴロブナやアユ等の種苗生産、放流を行い、有用水産資源の増殖に努めるとともに、増殖場施設の管理点検により自然生産力の回復に努めるなど、琵琶湖水産業の振興を図っている。